

Sanko

2019

No. 3 1 9



表紙 作手小学校・山村交流施設

名建築 川崎駅北口自由通路新設・駅改良工事

Sanko
Archi Spot 関東・東海・甲信越・北陸特集

JR川崎駅の新しい顔

川崎駅北口自由通路新設・ 駅改良工事



株式会社ジェイアール東日本
建築設計事務所
建築設計本部
ターミナル駅開発部門
主幹 菅原 和人氏

■利便性と回遊性を備えた駅に

JR川崎駅の東西をつなぐ「北口自由通路」が開通したのが昨年2月。川崎駅周辺は近年、新しい商業施設のオープンや高層マンションの建設、地下街のリニューアルなど注目を集める開発が続いています。しかし、これまで駅の東西をつなぐ通路は東西自由通路一本しかなく、新たな整備が求められていました。

東日本旅客鉄道株式会社と川崎市の共同事業として行われた本工事では、「北口自由通路」を新設すると共に駅改良工事も実施。川崎駅へのアクセス性向上と東西自由通路の混雑緩和、駅東西への利便性・回遊性等の向上を目指しました。

工事は、東海道本線、京浜東北線、南武線が乗り入れる環境の中、線路上に人工地盤を構築するなど、難易度の高いもので、着工から5年の歳月を要しました。

新たな通路と東西自由通路には各々新たに改札口が設けられ、既存の改札と合わせ

て3つとなりました。これと平行して整備が進められてきた「アトレ川崎」の増床整備事業もグランドオープン。増床部分には商業・行政サービスなどの情報発信拠点「コモレピテラス」を設置。川崎のさらなる魅力向上にも配慮しています。

■心地よい吹き抜け空間

新たな自由通路は、駅東西を結ぶ連絡機能のみならず、JR川崎駅と京急川崎駅の乗り換え動線も兼ね備えており、交通結節点としての重要な位置づけとなります。

人々が行き交い、集う場でもあることから、設計に際しては、自由通路と駅に一体感を持たせることを重視し、3層吹き抜けの開放的な空間をつくりました。また通路及びコンコースは通常空調もなく夏は暑い空間になりがちです。吹き抜けにすることで、暑い空気を上に逃がし、人々が利用しているエリアを涼しくしようという狙いもありました。また明るさも心地よい空間に



写真提供／株式会社ジェイアール東日本建築設計事務所

は重要な要素です。自然光を取り込むために、妻側には大きな窓を、屋根にはトップライトを設けています。

■一体感をもたらす大屋根の形

自由通路にかかる大屋根のかたちについては実はいろいろな案をつくりました。かつて川崎に多く見られた工場ののこぎり屋根をイメージしたデザインやフラットなものもありました。その中で一体感があって雨仕舞からも最良と思われたのが、現在のデザインです。素材には、高い断熱性と遮音性をもったダブルパックを採用しました。通路の内側から天井を見ると、先端はかなり大きくカーブを描いていることがわかります。屋根はそれより幾分緩やかですが、アールをもった屋根は、バスターミナルから見たとき、建物の圧迫感を視覚的に軽減してくれる効果も期待されます。



写真提供／株式会社ジェイアール東日本建築設計事務所

- (上) 側面から眺めた北口自由通路
- (中) バスターミナルから眺めた駅舎
- (下) 北口自由通路を内側から見上げる

■災害時の避難場所としても機能

北口自由通路及び改札内の一部は、大規模災害時には帰宅困難者の一時滞留場所としても機能するよう、設計しています。商業・行政サービスなどの発信拠点である「コモレビテラス」からは、避難されて来

た人々に必要な情報を提供する事も想定しています。

生まれ変わった川崎駅が、駅周辺施設とともに街全体のにぎわいを創出し、今後の川崎のまちづくりの一助となることを願っています。



施工に携わって
三晃金属工業(株) 横浜支店

L字型の大屋根にダブルバックをカービング加工して施工。端部が急傾斜の上、場所によって曲率が微妙に異なるため、気をつかいました。またジョイント部分は手間をかけ入念に作業しています。なお、温度変化によって生じる板鳴りを低減する工法を用いており、外気の影響を受ける上弦材に緩衝シールなどを挿入して金属同士のメタルタッチを極力少なくし、摩擦音や衝撃音の振動を伝わりにくくしています。また夜間の荷揚げやクレーンの旋回ラインの規制など駅工事特有の作業工程ありましたが、無事施工することができました。

建築概要

- 所在地…神奈川県川崎市
- 事業主体…川崎市、東日本旅客鉄道株式会社
- 敷地面積…29,997.00㎡
- 建物面積…9,413.03㎡ (増築部延床)
- 構造…S造
- 屋根仕様…
- 【大屋根】丸馳折版Ⅱ型ダブルバック (カービング加工) フッ素樹脂ガルバリウム鋼板
t=0.8mm 1,847㎡
トップライト 合わせガラス305㎡
- 【5F・4F・3F他2棟】丸馳折版Ⅱ型ダブルバック
フッ素樹脂ガルバリウム鋼板
t=0.8mm 1,004㎡
- 【北部自由通路他3棟】立馳E-20
フッ素樹脂ガルバリウム鋼板
t=0.4mm 360㎡
- 設計…株式会社ジェイアール東日本建築設計事務所
- 施工…鉄建・大林JV
- 竣工…2018年2月



Sanko Archi Spot

表紙



作手小学校・山村交流施設 (愛知県新城市)

- 屋根仕様／美段ルーフ15 フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.4mm 4,084㎡ 瓦棒F-40 フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.4mm 568㎡ 立馳葺 フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.4mm 318㎡ ●外壁仕様／K型スパンドレル カラーガルバリウム鋼板 t=0.5mm 319㎡
- 設計／(株)東畑建築事務所 ●施工／(株)波多野組

施工のポイント

学校施設の普通教育棟、特別教室棟、体育館、ランチルーム、地域施設の山村交流棟と建屋がたくさんある。



岐阜経済大学創立50周年記念キャンパス整備事業新2号館 (岐阜県大垣市)

- 屋根仕様／ハイタフルーフ t=1.14mm 763㎡ 折版F-80 フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.8mm 219㎡ エックスロングリーンシステム エックスロン やし殻マット エックスロン鋼板 t=0.4mm 116㎡ ●外壁仕様／目地無しスパンドレル カラーガルバリウム鋼板 t=0.5mm 288㎡ 【軒天】目地無しスパンドレル カラーガルバリウム鋼板 t=0.5mm 165㎡
- 設計／(株)久米設計 ●施工／岐建(株)



群成舎オフィス計画 (群馬県高崎市)

- 屋根仕様／折版W-500 カラーガルバリウム鋼板 t=0.8mm 167㎡ 明かり取り ポリカーボネート t=2.0mm 45㎡
- 外壁仕様／スパンドレル カラーガルバリウム鋼板 t=0.5mm 223㎡
- 設計／(株)飯井建築設計事務所
- 施工／清水建設(株)



Sanko Archi Spot



自動車技術総合機構石川事務所（石川県金沢市）

- 屋根仕様／ハイタフルーフ t=1.14mm 1,641㎡ 折版F-200I型 フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.8mm 254㎡ 折版F-200II型 フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.8mm 879㎡ SX-40化粧キャップタイプ フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.5mm 569㎡ ●外壁仕様／サイディングハイシャドー フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.6mm 292㎡
- 設計／(株)大建設 ●施工／安藤・間



保険センター健康院（東京都町田市）

- 屋根仕様／SX-40 カラーガルバリウム鋼板 t=0.5mm 789㎡
- 設計／(株)久米設計 ●施工／西松建設(株)



なでしこ小学校等複合施設（東京都北区）

- 屋根仕様／ダブルパック工法 上弦材：折版F-80 フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.8mm 1,176㎡ 下弦材：折版F-80 フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.8mm 1,176㎡
- 設計／(株)東畑建築事務所 ●施工／新英興業(株)



(仮称) 富士ミネラルWaterGallery(山梨県富士吉田市)

- 屋根仕様/ダブルバック工法 上弦材:丸馳折版I型(ラジアル加工) カラーガルバリウム鋼板 t=0.8mm 2,244㎡ 下弦材:丸馳折版I型(ラジアル加工) カラーガルバリウム鋼板 t=0.6mm 2,244㎡
- 外壁仕様/ダブルバック工法 上弦材:丸馳折版I型(ラジアル加工) カラーガルバリウム鋼板 t=0.8mm 733㎡ 下弦材:丸馳折版I型(ラジアル加工) カラーガルバリウム鋼板 t=0.6mm 733㎡
- セキノ角スパンドレル SP-180K(3山) カラーガルバリウム鋼板 t=0.5mm 919㎡
- 【ブリッジ】●屋根仕様/月星立平 MSタフビーム333WS カラーガルバリウム鋼板 t=0.4mm 226㎡
- 外壁仕様/月星立平 MSタフビーム333WS カラーガルバリウム鋼板 t=0.4mm 220㎡
- 設計/木下道郎ワークショップ ●施工/株早野組

ミッションランドA2棟増築(埼玉県久喜市)

- 屋根仕様/ダブルバック工法 上弦材:丸馳折版II型(ラジアル加工) カラーガルバリウム鋼板 t=0.8mm 390㎡ 下弦材:丸馳折版II型(ラジアル加工) カラーガルバリウム鋼板 t=0.8mm 390㎡(吸音ダブルバック工法 76㎡)
- 設計/株實徳設計 ●施工/株山崎工務店

三城幼保園(岐阜県大垣市)

- 屋根仕様/瓦棒F-40-M カラーガルバリウム鋼板 t=0.5mm 1,290㎡
- 外壁仕様/K型スパンドレル カラーガルバリウム鋼板 t=0.5mm 708㎡
- 設計/株デザインボックス ●施工/株宇佐美組



Sanko Archi Spot



中部国際空港 フライト・オブ・ドリームズ (愛知県常滑市)

- 屋根仕様／ダブルバック工法 上弦材：折版F-200II型 フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.8mm 5,279㎡ 下弦材：丸馳折版II型 カラーガルバリウム鋼板 t=0.6mm 5,279㎡ ●外壁仕様／折版F-200II型 フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.8mm 2,547㎡ インバンドPro 横張り フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=50mm 2,373㎡ インバンドPro 縦張り フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=50mm 481㎡
- 設計／(株)日建設計 ●施工／東急建設(株)

施工のポイント

くの字の外壁はF200IIで施工。



伊賀市庁舎 (三重県伊賀市)

- 屋根仕様／屋根：立馳SX-40 カラーガルバリウム鋼板 t=0.6mm 1,908㎡ 【付属建屋】ルーフデッキ カラーガルバリウム鋼板 t=1.0mm 205㎡
- 設計／(株)日建設計
- 施工／鴻池・山一特定建設工事共同企業体

施工のポイント

伊賀市らしい大屋根を持ち、高さを抑えた計画によりまちづくりを先導する庁舎。





日野自動車(株)新田工場食堂棟 (群馬県太田市)

- 屋根仕様／ダブルバック工法 上弦材：丸馳折版Ⅱ型 ガルバリウム鋼板 t=0.8mm 1,790㎡ 下弦材：丸馳折版Ⅱ型 ガルバリウム鋼板 t=0.6mm 1,790㎡
- 設計・施工／清水建設(株)

関東砂糖(株)上尾支店倉庫増築 (埼玉県上尾市)

- 屋根仕様／丸馳折版Ⅱ型 カラーガルバリウム鋼板 t=0.8mm 734㎡ ハイタフルーフ t=1.14mm 205㎡ ●外壁仕様／サイディングF カラーガルバリウム鋼板 t=0.5mm 630㎡
- 設計／(株)園部建築事務所 ●施工／櫻井建設(株)



日本ファブテック(株)取手工場屋根改修 (茨城県取手市)

- 屋根仕様／サンコースライダー 25 ガルバリウム鋼板 t=0.5mm 20,406㎡
- 設計・施工／(株)シミズ・ビルライフケア

Sanko Archi Spot



江南市新体育館（愛知県江南市）

- 屋根仕様／丸馳折版Ⅱ型 SRAS フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.8mm 3,599㎡
- 外壁仕様／K型スパンドレル フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.6mm 873㎡
- 設計／(株)佐藤総合計画 ●施工／佐藤工業(株)・昭和土建・松岡建築JV

施工のポイント

SRASの折版屋根、寄棟形状。



中島特殊鋼(株)新工場（愛知県大府市）

- 屋根仕様／丸馳ロック フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.8mm 2,466㎡ 折版W-500 カラーガルバリウム鋼板 t=0.6mm 403㎡
- 外壁仕様／サイディングS カラーガルバリウム鋼板 t=0.5mm 1,203㎡
- 設計／(株)大建設計 ●施工／アイシン開発(株)

施工のポイント

梁間最大6,500。

第5バース荷捌所（卸内市場）及び関連施設（静岡県焼津市）

- 屋根仕様／丸馳折版Ⅱ型（カービング加工）フッ素樹脂アルミめっき鋼板 t=0.8mm 3,247㎡ ●外壁仕様 BLウォール フッ素樹脂アルミめっき鋼板 t=0.5mm 825㎡ ●天井仕様／BLウォール フッ素樹脂アルミめっき鋼板 t=0.5mm 3,038㎡
- 設計／(株)朝日設計
- 施工／木下建設工業(株)



**三浦市低温卸売市場
(神奈川県三浦市)**

- 屋根仕様／折版F-200 II型 丸馳折版II型 フッ素樹脂マグネシウム添加ガルバリウム鋼板 t=0.8mm 818㎡ ハイタフルーフ t=1.14mm 1,473㎡
- 外壁仕様／サイディングG F-400 フッ素樹脂マグネシウム添加ガルバリウム鋼板 t=0.6mm 431㎡
- 設計／(株)OCT ASSOCIATES ●施工／東洋建設(株)



市立大野原小学校体育館屋根(神奈川県大和市)

- 屋根仕様／サンコースライダー 25 カラーガルバリウム鋼板 t=0.5mm 713㎡ ●外壁塗装／三晃クールガードAQ 370㎡ ●下屋塗装／三晃クールガードAQ 161㎡
- 設計／大和市役所 ●施工／(有)藤田工務店



GLP流山Iプロジェクト(千葉県流山市)

- 屋根仕様／ダブルパック工法 上弦材：丸馳折版ロック ガルバリウム鋼板 t=0.8mm 23,056㎡ 下弦材：丸馳折版ロック ガルバリウム鋼板 t=0.6mm 23,056㎡
- 設計／意匠・設備：東急建設(株) 構造：デロイトトーマツPRS(株) ●施工／東急建設(株)



Sanko Archi Spot



カゴメ(株)那須工場
A-PET工場
(栃木県那須塩原市)

- 屋根仕様／丸馳折版Ⅱ型 ガルバリウム鋼板 t=0.8mm 5,272㎡
- 外壁仕様／サイディングF カラーガルバリウム鋼板 t=0.6mm 3,263㎡
- 設計・施工／塩那エンジニアリング(株)

SANKO 営業所 紹介

松本営業所 (長野県松本市)

河野二郎所長／長野県は雪国のため、勾配屋根をよく見かけます。屋根材としても丸馳Ⅰ型やSX-40など、雪に強い製品が人気です。軽井沢など別荘地を擁することから住宅を手がける職人が多く、当営業所でも大型物件だけではなく「住宅もできる」ことを積極的に売り込んでいます。加えて今後は、材料販売のウエイトも高めたいと考えています。そして長野オリンピックから20年を迎える今年、県民にとって誇りでもあるオリンピック関連施設の改修も視野に取り組んでいきたいと思っています。



左から吉村優斗、深町昌広、河野二郎所長、中島慎太郎、武居美紀



ことぶきアリーナ千曲 (長野県千曲市)

- 屋根仕様／ダブルバック工法 上弦材：丸馳折版Ⅱ型 フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=1.0mm 3,466㎡ 下弦材：丸馳折版Ⅱ型 GL生地 t=0.8mm 3,466㎡ 断熱天井 SRAS工法 3,466㎡
- 【樋】ハイタフルーフ t=1.14mm 313㎡
- 外壁仕様／サイディングハイシャドー フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.6mm 3,581㎡
- 基本設計／株式会社久米設計 ●実施設計・施工／鹿島建設(株)

屋根鉄骨を油圧ジャッキで移動させる「スライド工法」を用いたため、事前の工程・施工方法の打合わせと施工班への周知を徹底しました。また建物の顔となる外壁については施工図チェックと修正を繰り返し実施。厳しい工程も施工班を増員してクリアしました。



平成30年度村単南相木村村営和田住宅 (A,B,C棟) (長野県南佐久郡)

- 屋根・外壁仕様／立馳SX-40 カラーガルバリウム鋼板 t=0.5mm 819㎡
- 設計／山の辺建築設計事務所 ●施工／中島組・依田建築

南相木村のカラマツを使った移住定住促進住宅で、2戸長屋形式の2階建て住宅3棟の屋根と壁を立馳SX-40で施工。屋根と壁の馳の位置が一続きになるようにとの要望を受け、緻密な作業に取り組みました。小さいながら施工班の技術が光る案件です。



**君津支店構内エンジセンター建設工事
(千葉県君津市)**

- 屋根仕様／丸馳折版Ⅱ型 カラーガルバリウム鋼板 t=0.8mm 1,336㎡ 立馳E-20 カラーガルバリウム鋼板 t=0.4mm 29㎡ ルーフデッキ カラーガルバリウム鋼板 t=0.8mm 5㎡ 折版W-500 カラーガルバリウム鋼板 t=0.8mm 68㎡ ●外壁仕様／インバンドBL-35 働き600 カラーガルバリウム鋼板 t=35mm 2,009㎡
- 設計／日鉄住金テックスエンジニア(株)
- 施工／阿比野建設(株)

**武並小学校屋内運動場改築
(岐阜県恵那市)**

- 屋根仕様／SX-40化粧キャップタイプ W455 フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.6mm 1,003㎡ SX-40化粧キャップタイプ W455 フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.6mm 381㎡
- 設計／(株)サニー建築設計
- 施工／(株)小栗材木店

施工のポイント

木造の体育館にSX-40キャップ付屋根を施工、形状はシンプルな切妻の大屋根と片流れの庇。



からし種健康福祉村 診療所建設工事 (静岡県袋井市)

- 屋根仕様／美段ルーフ15 フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.4mm 1,689㎡
- 設計／(株)竹下一級建築士事務所 ●施工／丸明建設(株)

施工のポイント

方形屋根が5棟、軒先と一体化させた屋根が見もの。

神奈川大学工学部建築学科 教授 藤田 正則

〈第11回〉鋼構造の部材リユース —丁寧な解体工法—

1. はじめに

前項では、鋼構造の部材リユースのための要件の一つである、部材の施工・解体が容易であることの重要性について述べた。

本稿では、鋼構造の部材リユースにあたって、丁寧な解体工法について言及する。

2. 解体工法の種類

鋼構造の解体工法には、丁寧な解体工法その他、溶断工法、機械切断工法、移築解体工法がある(図1)。溶断工法は、機械切断工法が作業環境上困難な場合や建物規模が小さい場合を対象としている。柱や梁の一部を切断し、ワイヤーなどを使用して取り壊しを行う。溶断は切断箇所を酸化もしくは溶融し、溶融物質を吹き飛ばして切断する方法で、ガス切断やアーク切断などがあり、鋼材の切断、溶接開先の加工、はつりなどに使用されている。中でも、ガス切断は金属の一部を余熱炎で加熱し、燃焼温度に達した時に高圧酸素を吹き付け、金属と酸素の急激な化学反応を利用して鋼材を切断するものである。

機械切断工法は主に油圧式の鉄骨カッター(鉄骨切断用アタッチメント)を用い、大きな断面の部材の切断、及び高所の作業を安全にかつ迅速に行うものである(図2)。柱を転倒させる場合には溶断工法と併用する。建物の解体にあたっては、安全性を考慮して重心の位置と転倒する方向を定めて柱などの切断箇所を設定する。また、内装材や外装材は事前撤去が好ましいが、同時に解体する場合もある。

移築解体工法は建物全体または一部を他の場所に移動して移築再建するものである。重要文化財などの建物を主な対象としており、建物全体あるいは部分的な移築に使用されている。

丁寧な解体工法は主に柱及び梁などの部材継ぎ部を切除することで部材を取り外し、

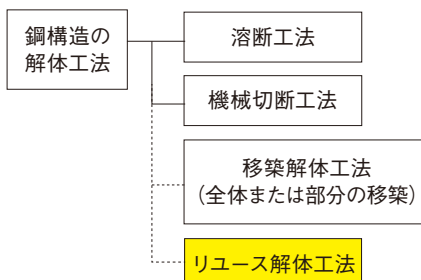


図1 解体工法の種類

再利用する工法(以降、リユース解体工法という)で、部材リユースに用いる。

上述した鋼構造の解体工法の手順には、主に解体しやすい箇所から順次解体する場合と新築の建方順序との逆の工程で解体する場合がある。解体材は、柱及び大梁などの主要構造部材、小梁、母屋材、胴縁などの二次部材であり、その接合法は、溶接接合、高力ボルト接合、ボルト接合あるいはそれらの組み合わせがある。中でも、工場や事務所などの主要構造材の部材継手は高力ボルト接合がほとんどである。解体工法の選定にあたっては、計画段階において敷地条件、構造形式、使用部材、用途、接合法などを考慮して適切に判断する。

3. リユース解体工法

1) 解体フロー

部材リユースに着目した解体フローを図3に示す。建築主は立地条件、部材の調達期間、経済性などを考慮して解体後の部材の扱いを決定する。解体の決定後、部材リユースする場合には、データベース(DB)に部材の性能に関する情報を登録する。その際、部材の性能を評価・判定し、リユース部材の有無を決定する。過大な変形などの被害履歴・地震などで塑性化している部材はスクラップ処理して、リサイクルする。なお、リユース解体工法の後、分別・回収された部材は、部材の劣化状態に応じてリユース、リサイクル、廃棄のいずれかのフローとなる。

2) リユース解体工法

リユース解体工法は、主要構造部材の部材継ぎ部に多く使用されている高力ボルト摩擦接合を切除する手壊し解体である。その際、部材継ぎ部におけるフランジ及びウェブの高力ボルトをインパクトレンチまたはガス切断機などを用いて切除する。高力ボルトを逆回しあるいはガス切断のいずれか一方だけで切除できない場合には各々を併用する。ガス切断機には解体現場で多く使用されているアセ



図2 機械切断工法

チレンガスまたはプロパンガスを用いる。いずれも、鉄骨カッターは用いず、高所作業車を利用する(図4)。リユース解体工法は、他の工法に比べて騒音・振動・粉塵の発生が少なく生活環境が改善するものの、解体工期を要する。

一方、部材リユースにあたっては、耐火被覆のある部材も存在する。その場合には、耐火被覆を除去し、部材の損傷の程度を確認する。耐火被覆に吹付けロックウールを用いた場合には、その除去の際に生じる飛散物の養生などの課題もある。これに対して、ロックウール系やセラミックファイバー系の材料を用いた巻付け工法の場合、養生も軽微で比較的、容易に取外すことができる。いずれにおいても、耐火被覆の取外し後、部材の表面に残存する耐火被覆が少なければ下地調整が容易となり、リユース部材として利用しやすいといえる。

4. おわりに

鋼構造の部材リユースのための要件のうち、リユース解体工法について示した。

参考文献

1) 日本建築学会：鋼構造環境配慮設計指針(案)一部材リユース、2015.12

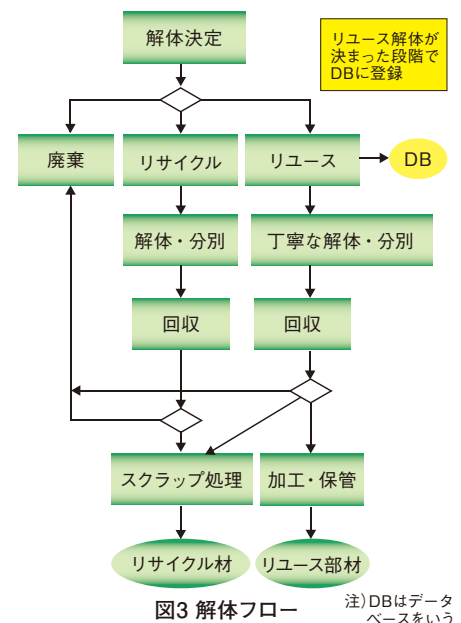


図3 解体フロー

注)DBはデータベースをいう



図4 リユース解体工法

雪国のレトロな“箱”で時空を超える 国登録有形文化財 高田世界館



建物正面。左側に写る屋根付き通路が、表通りからのアプローチ

日本有数の豪雪地帯、新潟県上越市高田。この小さなまちには、過去二度の大きな転機があった。ひとつは江戸時代。徳川家康の六男、松平忠輝公の居城が築かれ、城下町として大いに栄えた。次は明治時代、幕府が去った城跡に陸軍を誘致したことに遡る。まちの人口が一気に増え、旅館や料亭など“人の集う場”が次々と誕生。そのうちのひとつが、「高田世界館」だ。

明治44年(1911年)築。完成当初は「高田座」という芝居小屋だったが、5年後には映画館となり、今に至る。建物を表から眺めると、正面はシンメトリーなデザイン。装飾の施された窓、破風のついた屋根を持つ木造二階建て。典型的な擬洋風建築だ。

入り口を入ってすぐの壁に設えてある小さな開口は、下足番の名残り。開館当時、館内が畳敷きだったことがうかがえる。こぢんまりとしたロビーの中央にある「ひく」と書かれた観音開きの扉を開けると、スクリーンが正面に。芝居小屋当時の造りをそのまま活かしているため、映画館にしては珍しく2階席がある。映写室では希にアナログのフィルム上映も。今や貴重な“レトロ”だ。

かつての賑わいは過去のものとなり、確実に過疎化が進む高田のまちを見守ってきた。松竹、東映、テアトルと配給元を変えながら、昭和45年(1970年)には日活ポルノ映画専門の

箱に。以降40年近く、地元では“近寄りたがい場所”。娯楽のかたちが変わり、建物が老朽化するなか、細々と営業は続けられた。致命的なダメージとなったのは平成19年(2007年)に起きた新潟県中越沖地震。2年後にはいったん閉館に追い込まれる。黙ってれば取り壊しになる運命。しかし「紡いだ時間を守りたい」と地元有志が立ち上がり、現在はNPO法人が管理と映画の上映を担っている。

全国公開とほぼ変わらないタイミングで最新作をかける。遠巻きにしていた地元の人の足も徐々に戻ってきた。もちろん快適な巨大シネマコンプレックスと比較すれば至らないところもあるに違いない。ロビーには上映中の映画の音声もしっかり漏れ聞こえる。「防音性を高めたい」と担当者。しかし、考えてみればその“漏れ方”も一世紀もの。おとずれる人のために焚かれたストーブの灯が暖かい。たくさんの人に憩いを届ける、この箱の存在そのものが「映画」のようである。

高田世界館
新潟県上越市本町6丁目4-21
025・520・7626

- 休館日／火曜日
- 開館時間／10:00～
(閉館は上映終了時間により変動)
- 鑑賞料金／大人1,500円(一部1,600～1,700円)



通りに面した小屋はかつての切符売り場



1階から2階席をのぞむ。天井は八角形の飾りを中心に、板目がシンプルに組まれている



2階からの光景



2階席。上下に装飾のついたギリシャ柱が等間隔で配してある



映写室。正面の壁には火除けの神棚が



館内。フィルムのリールがオブジェ

三晃金属工業の **塗装改修** システム

完全保証システム

施工だけではなく塗料も保証

施工実績 1,000 万㎡信頼

1971 年からの実績

鋼板専用開発した各種塗料

熱伸縮に対する追従性

板金と塗装のコラボレーション

板金で止水・塗装で保護

豊富なラインナップ

遮熱・断熱・エコノミー

一般塗料との違い → **下塗りがまったく違います**

密着性

特殊オリゴマーと特殊エポキシ樹脂とのハイブリッド化により、各種プライマー面をはじめ、長期間暴露された各種鋼板面の旧塗膜への密着性に優れています。

防食性

特殊オリゴマーは耐水性・耐海水性に優れ、マイカ成分で外部からの水分や酸素等の腐食性物質を遮断し、長期にわたり防食性能を発揮します。

応力緩和性

科学的に安定した特殊オリゴマーは塗膜の収縮を緩和し、強靱な塗膜を形成。長期間、塗膜のソリ、ワレ、はがれ等の欠陥が見られません。

上塗りラインナップ (汚れ防止型・遮熱型が選択できます)

フッ素樹脂仕上げ

DP 1 級相当品

アクリルシリコン樹脂仕上げ

DP 2 級相当品

ウレタン樹脂仕上げ

DP 3 級相当品

ポリウレタンエポキシ樹脂の 1 回塗り仕上げ

■三晃金属工業株式会社■ 営業総括部/〒108-0023 東京都港区芝浦4-13-23 MS芝浦ビル11F TEL.03-5446-5603
東京支店/☎03-5446-5610 横浜支店/☎045-681-1235 名古屋支店/☎052-385-4562 大阪支店/☎06-6444-9011
中国支店/☎082-264-7881 九州支店/☎092-441-3551 北海道支店/☎011-726-3551 東北支店/☎022-217-6680